

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 01 月 08 日作成)

小委員会名	建築教育将来検討委員会		主 査 名：衣袋洋一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会		委員長名：稲葉 武司 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ 建築を取り巻く社会環境の変化に建築教育が対応する課題・問題について、建築技術革新、産業構造と建築系学生の進路の多様化の視点から調査研究。 07 年度に引き続き、全国大会の研究協議会を開催し、大学、建築業界における実践教育の課題を探る。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：		
	主査：衣袋洋一 (芝浦工大)、幹事：三原斉 (ものづくり大) 委員：五十嵐健 (早稲田大学)、浦江真人 (東洋大学)、大湾朝男 (鹿島建設)、倉斗道夫 (日本設計)、田村彰男 (竹中工務店)、松島史朗 (豊橋技術科学大学)、山名善之 (東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. (名称) 実務経験を持つ教員の見た建築教育の課題と展望 参加人数 70 名 (資料名) 実務経験を持つ教員の見た建築教育の課題と展望 —大学の出口戦略強化に向けて— (会場配布)
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 研究協議会を開催し、70 名の参加者があったことは評価できる。 2. 建築業界における社内教育の把握ができた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 他の研究集会との関係から出口戦略としての建築教育課題が発見できた。 2. 建築業界が求めている「能力」「技術」、及び学部教育への要望の課題発見。 3. 就職説明会の在り方。つまり、在来の企業説明会ではなく、逆の企業への学科説明会もあるのでは。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。